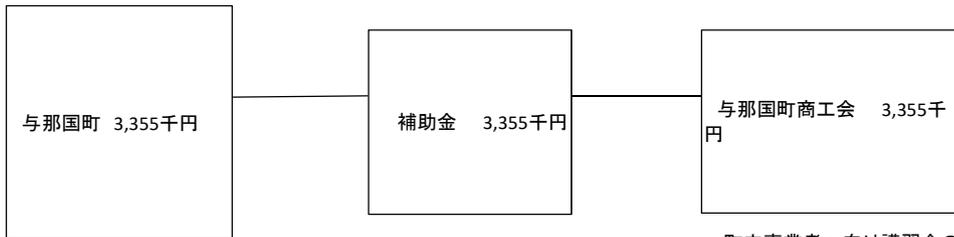


市町村名	与那国町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	与那国島特産品アピール強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	与那国島産品の売上増加を図るため、商工会等が実施する物産展出展や特産品の商品力及び販売力強化の取組を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
		(b) 予算現額	8,000	8,000	6,835	1,252	8,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 1,165	▲ 6,748	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	8,000	8,000	6,835	1,252	8,000
		B. 執行済額	5,122	6,288	6,835	1,252	3,355
		うち交付金充当額	4,097	5,030	5,467	1,002	2,683
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	64.0%	78.6%	100.0%	100.0%	41.9%
	予算の状況の説明	予算の不要額の発生については、新型コロナウイルス感染症の影響により県外での物産販売を急遽中止し、オンライン販売に切り替えた事によることが要因である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	物産展出展 県内1回 県外1回	目標	(県内出展1回 県外出展1回)	(県内出展1回 県外出展1回)	(県内出展1回 県外出展1回)	(県内出展1回 県外出展1回)	
		実績	県内出展1回 県外出展1回	県内出展1回 県外出展1回	県内出展0回 県外出展0回	県内出展0回 県外出展0回	
	店舗レイアウトや陳列方法、POPの作成方法など、専門家による販路促進のための講習会の開催 4回	目標	(売上増を図る)	(講習会開催3回)	(講習会開催3回)	(講習会開催3回)	
実績		講習会3回	実施	3回	3回		
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響にて、業者とお客様との対面販売は実施できなかったが、県内・県外ともに各1回ずつ、商品を送付し、委託販売にて出店することができた。講習会においては、SNSを活用した販促の方法やネット販売などコロナで制限された中でも行える取り組みについて講習会を3回開催した。また今後義務化されるHACCPの対応についても支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	参加した物産展において与那国島産品の売上高200万円以上	目標	()	(190万円以上)	(190万円以上)	(1,700千円以上)	()
		実績		154万円	0円	0万円	
	【参考指標】 物産展出展数13事業者及び講習会参加者	目標	()	(13業者)	(13業者)	(13業者)	()
		実績		9業者	6業者	9業者	
進捗状況説明	新型コロナウイルスの影響で、直接物産展での販売は叶わず、参加事業者数・売り上げ金額共に目標には届かず。しかしながら、委託販売としての売り上げが37万円計上することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響で、実際島外へ出での販売機会が減少している中で、販売機会の確保・販促方法などさらなる工夫が必要である。	ECサイトでの販売やSNSの活用などインターネットを活用した販売機械を充実させる。 町内の他業種や多職種との連携をはかり、コラボ商品など魅力ある商品の開発を検討することで、営業機会の増幅や情報交換など相乗効果を期待していく。
今後の取り組み方針		
コロナ渦で販売機会が限られている中で、商品を販売できる環境を整備していく必要があるため、ECでの商品展開の仕方を研修で学んでいく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付金充当額	
3,354	3,354	2,683	671	0



町内事業者へ向け講習会の開催などに係る補助及び県内外主点に係る補助金

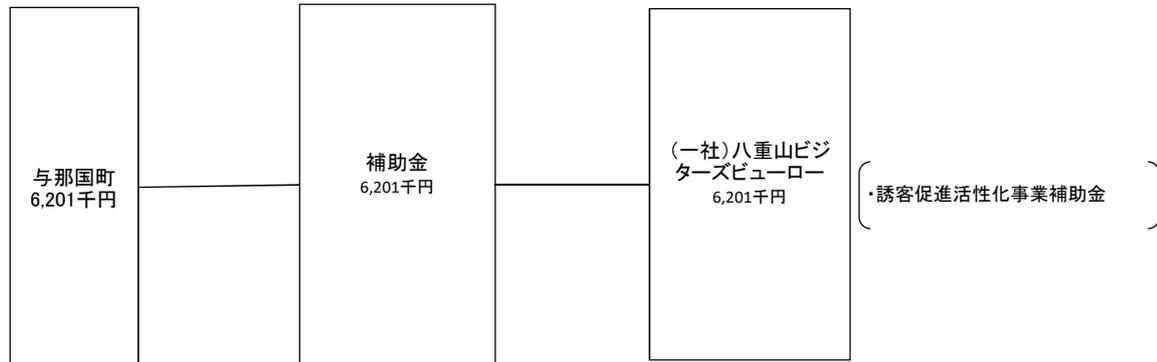
資金の流 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那国町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	与那国町誘客促進活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	与那国島観光物産・伝統芸能フェアを開催し、与那国島のPR活動を行うことで、観光誘客に繋げる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	(a) 当初予算額		5,034	13,034	7,000	7,000	
	(b) 予算現額		5,034	12,095	5,792	6,201	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 939	▲ 1,208	▲ 799	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	0	5,034	12,095	5,792	6,201	
	B. 執行済額		5,034	12,095	5,792	6,201	
	うち交付金充当額		4,027	9,676	4,634	4,960	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響で予定していた事業の中止や延期があったため、制限下でも実施できる招聘事業やツール類増刷などによるPRIにシフトして実施した						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	与那国島観光物産・伝統芸能フェアの開催	目標	(開催)	(開催)	(開催)	(開催)	
		実績	未実施	実施	未実施	未実施	
	トップセールスによる空路開拓、商品造成	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	未実施	未実施	
	PRツール作成	目標	(作成)	(作成)	(作成)	(作成)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	既存事業の内容充実とPR強化	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	未実施	未実施	
観光客意識調査や市場調査等による情報収集と分析	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績	実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	上半期の長期にわたる緊急事態宣言の影響で予定していた事業の延期・中止が余儀なくされたが、メディアプロモーションや感染症対策グッズの配布など県外からの往来なしでも行える事業に転換してできる範囲でPR活動を進めた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(23年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R5年度)
	観光物産・伝統芸能フェア来場者数 延べ5,000人以上	目標	()	(450人)	(5,000人)	(5,000人)	(5,000人)
		実績		4,627人	0人	0人	
	航空機チャーター便による来島者数 1,750人以上	目標	()	(1,000人増)	(1,750人)	(1,750人)	(1,750人)
		実績		370人	17人	0人	
	クルーズ船による来島者数 600人以上	目標	()	()	()	(600人)	(600人)
		実績				0人	
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響で成果目標3点共に中止となり、開催できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響をうけ、中止や延期の影響を受けやすい事業内容が多いため、代替案の見当も必要である	夏場(ボトム期)の商品造成・滞在時間の長期化を図るための工夫が必要
今後の取り組み方針		
与那国島の豊かな自然環境と歴史・文化など多様で魅力ある資源を活用し、滞在型観光の振興を柱に受け入れ態勢の整備、市場ニーズにあわせた与那国島の魅力や観光コンテンツのブラッシュアップを実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,201	6,201	4,960	1,241	



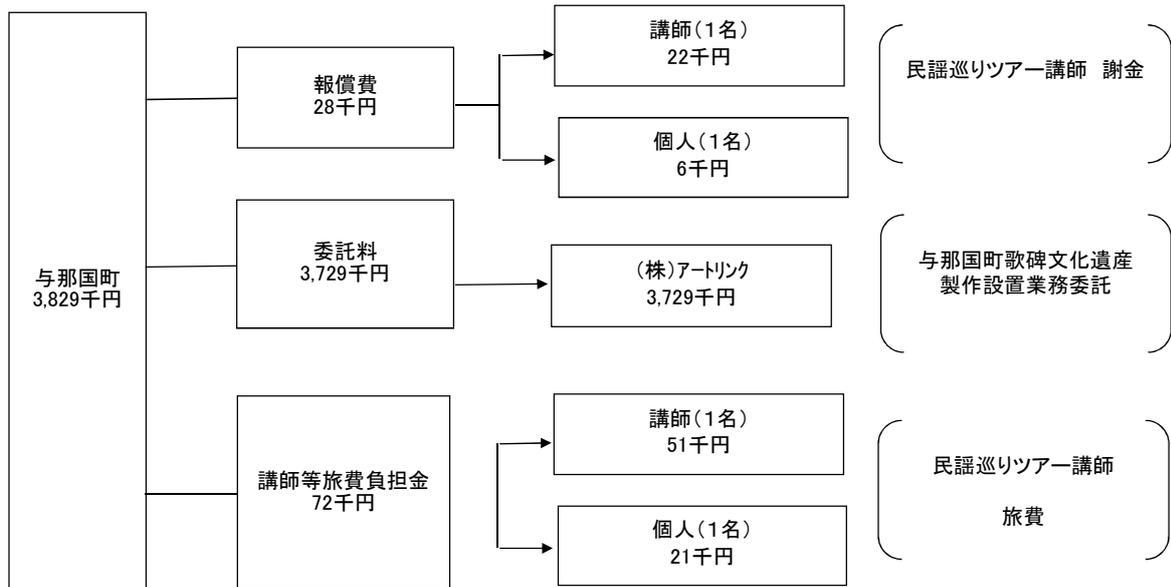
資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○八重山観光関係を網羅する社団法人であるため適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○一部未執行であったもののその他事業に見合った規模であり適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○一般社団法人(各首長組織)であるため妥当と考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	与那国町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	与那国民謡の文化継承事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-(ア)		
担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	与那国民謡の持つ文価値や魅力を掘り起こし、地域固有の文化遺産として教育や観光分野で活用するため、民謡発祥の地に解説板を設置する。設置後は、町民に広く周知して活用を促すため、民謡巡りツアーを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)						4,083
							3,897
			0	0	0	0	▲ 186
							0
		0	0	0	0	3,897	
	B. 執行済額						3,829
	うち交付金充当額						3,063
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.3%
予算の状況の説明		不用額67千円については、事業者がコロナワクチン接種により運転手を確保できず、バス賃借料53千円を支出しなかったほか、ツアー内容や航空賃の変動による減があったためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・解説板設置(3基)	目標	()	()	()	(3基)	
		実績				3基	
	・講習会・民謡巡りツアー(1回)	目標	()	()	()	(1回)	
実績					1回		
達成状況説明	解説板は当初の計画通り3基設置した。講習会・民謡巡りツアーは、予期せず実施日と新型コロナワクチン接種日が重なり、運転手が確保できず、町役場が所有するマイクロバスで実施した。バスの定員は減少したが、自家用車での参加者も多く、58名の参加者があった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	講習会受講者へアンケートを行い、「与那国島の歴史・文化への理解が高まったか(80%)について、事業の効果を検証する。	目標	()	()	()	(80%)	()
		実績				84%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	事業の成果を計るため、講習会・民謡巡りツアーの実施日にアンケートを実施した。設問「与那国島の歴史・文化への理解が高まったか」に対し、とても役立った84%、役立った11%、普通5%との回答が得られた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・与那国島の歴史、民俗、精神が歌い込まれた民謡は、地域の文化遺産であり、教育や観光分野に活用できるポテンシャルを有している。しかし、歌い継ぐ者や文化的背景を知る人の減少によって、地域固有の資源として十分に活用されていなかった。 ・民謡の価値を有効に活用していくための環境整備として、その場で歌を聞くことができるQRコード付き解説板3基を設置した。事業に対するアンケートでは、民謡ツアー参加者から高い評価が得られ、事業効果が認められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果から、与那国民謡にとっても興味があるとの回答が83%、魅力をととも感じるとの回答が94%あり、潜在的に与那国民謡に関心を寄せる人たちの割合が高いことがわかった。単年度事業として代表的な3曲の解説板を設置したが、与那国島には民謡が豊富にあり、今度それらを利活用するための環境整備を実施すれば、地域を担う人材の育成や観光振興につながり、固有の伝統文化の保存継承にも資することができる。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・設置した3基の解説板について、郷土学習など学校教育や観光スポットとしての活用を推進すると同時に、伝統芸能や文化財関係者らと連携して、由来や背景、発祥地など、与那国民謡に関する調査を実施し、設置が望ましい民謡のピックアップを行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,829	3,829	3,063	766	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	優良牛繁殖雌牛導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策の強化 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	農家の経営の安定化に向けて、生産する子牛の品質及び価格を向上させるため優良繁殖雌牛導入の支援をする。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a) 当初予算額	10000	10,000	12,500	15,000	15,000	
	(b) 予算現額	15000	15,000	14,000	15,000	15,000		
	(c) 増減額(b-a)	5,000	5,000	1,500	0	0		
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-		
	A. 計(b+d)	15,000	15,000	14,000	15,000	15,000		
	B. 執行済額	10891	10891	13501	11,456	11,023		
	うち交付金充当額	8712	8712	10801	9,164	8,818		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	72.6%	72.6%	96.4%	76.4%	73.5%		
予算の状況の説明	・計画の導入頭数についてはセリ価格の変動があるものの執行率は導入数予定の30頭を支援した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	・優良母牛導入の支援:30頭		目標 (優良牛繁殖雌牛導入の実施)	(25頭)	(30頭)	(30頭)		
			実績 (優良牛繁殖雌牛導入の実施)	30頭	30頭	30頭		
達成状況説明	・本事業で優良母牛の購入の一部支援を行うことで、優良母牛購入を求める畜産農家は多く、新規就業者の増加及び畜産農家の所得の向上が図られた。また、実施30頭を目標に導入支援数30頭を達成出来た。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合114%以上		目標	()	(109%以上)	(115%以上)	(114%以上)	()
			実績		102.0%	115.6%	119.3%	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
進捗状況説明	・子牛の価値を計るセリ価格は、他の要因により全体的な価格の高騰や低落等が起きやすいものの、優良母牛から生まれた子牛の数が上がっているため価格差の割合も上がり、R3は目標の114%以上の119.3%を達成した。今後も優良母牛の導入を継続すれば子牛の価格差割合の向上が期待できる。							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・現在続いている新型コロナウイルスによる今後の子牛セリ価格の下落が懸念される。	・優良母牛も年々増加しており、優良母牛から産まれる子牛値の価格差の割合も向上していることから飼養管理
	今後の取り組み方針	
<p>・優良母牛から産まれた子牛の価格は安定していることから、優良母牛を増やすとともにその母牛から産まれた自家保留母牛の増頭を図り、畜産農家経営の安定化に向け取り組む。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
22,047	11,023	8,818	2,205	11,023
<p>与那国町 11,023千円</p> <p>↓</p> <p>和牛生産を推進するため繁殖雌牛の導入にかかる補助金</p> <p>↓</p> <p>沖縄県農業協同組合 11,023千円</p> <p>↓</p> <p>受益者負担分 (交付対象外経費) 11,023千円 (1頭あたり1/2補助)</p>				
<p>(補助対象経費) 町内の畜産農家優良母牛及び妊娠牛購入経費 (補助対象者) 町内畜産農家 (補助率) 購入費用の1/2以内</p>				

資金の流 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助金の支出先については、農協を窓口として畜産農家を対象としていることから、支出先として妥当であると考え。予算の規模については子牛の価格高騰が続く中で妥当であったと思う。受益者との負担関係については、導入価格の1/2を負担額として決定しており妥当であったと考える。費目、用途については事業目的に即し真に必要なものか等確定時において支出等に関する書類により確認。適正だった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	農林水産物輸送コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化		
事業内容	離島のさらに離島である与那国町の地理的不利性を解消し、生鮮農水産物の島外への出荷量増加を図るため、沖縄本島への空路輸送費が同距離の陸路輸送費並みとなるよう補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,000	8,000	6,200	6,200	6,200
		(b) 予算現額	8,000	8,000	6,200	6,200	6,200
		(c) 増減額(b-a)	4,000	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	8,000	8,000	6,200	6,200	6,200
	B. 執行済額		3,632	4,387	5,492	5,818	6,100
	うち交付金充当額		2,906	3,510	4,394	4,655	4,880
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		45.4%	54.8%	88.6%	93.8%	98.4%
予算の状況の説明		・出荷割合の実績はR2年度より減少したが予定とおり実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・生鮮水産物の空路輸送費支援の実施	目標	(空路輸送費補助)	(空路輸送費補助支援)	(空路輸送費補助支援)	(空路輸送費補助支援)	
		実績	空路輸送費補助	空路輸送費補助支援	空路輸送費補助支援	空路輸送費補助支援	
	・農産物の空路輸送費支援の実施	目標	(空路輸送費補助)	(空路輸送費補助支援)	(空路輸送費補助支援)	(空路輸送費補助支援)	
		実績	空路輸送費補助	空路輸送費補助支援	空路輸送費補助支援	空路輸送費補助支援	
達成状況説明	・生鮮水産物、農産物の県内への空路輸送費補助を実施し、これまで輸送費が負担となり出荷されなかった生鮮水産物・農産物の出荷が増加し、漁業者及び農業者の負担軽減及び経営安定が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・生鮮水産物:出荷に占める沖縄本島への出荷割合24.3%	目標	()	(出荷割合 29.4%)	(出荷割合 30.4%)	(出荷割合 24.3%)	()
		実績		出荷割合 23%	出荷割合 32%	出荷割合 38%	
	・農産物:出荷に占める沖縄本島への出荷割合54.7%	目標	()	(出荷割合 62%)	(出荷割合 58.8%)	(出荷割合 54.7%)	()
		実績		出荷割合 63%	出荷割合 61%	出荷割合 38%	
	進捗状況説明	・生鮮水産物の目標値24.3%に対し出荷割合は38%となった。要因は、新型コロナウイルス感染症による輸送のための航空便の減便に伴い県外への出荷したが減少したことで、沖縄本島への出荷割合の増加が生じた。農作物については目標値54.7%に対し38%となった要因は、ウコン、クワンソウの生産量が増加したものの、長命草の収穫量が減少したことが大きな要因である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮水産物については、新型コロナウイルス感染症の影響により県内のカジキマグロの取引価格が低価格となっていることが課題となっている。 ・農産物については、薬用作用の生産は安定しているが、野菜類の生産増加を図ることが課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内で高値で取引のある漁獲量の増加を図ると共に付加価値を高めることへの検討が必要である。 ・ビニールハウス等を活用したバクチャー等の生産体制の強化を図り拠点産地への推進を図ってゆくと共に、薬用作用(長命草、ウコン、クワンソウ)の安定的な生産を進めてゆく。 <p>[カジキマグロの出荷状況] 本町では、年間約1,000本のカジキマグロが水揚げされるが、島内の消費に限りがあり約1割程度の消費となっている、残り約6割程度を県内へ出荷することで取引価格の安定化を図っていることから本島への出荷について補助を実施している。</p>

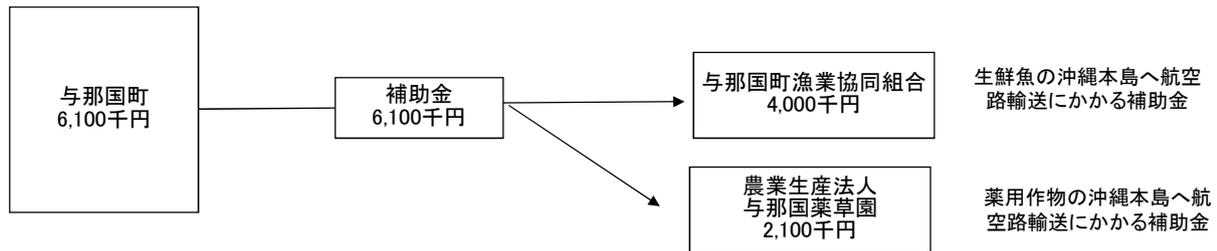
今後の取り組み方針

・カジキマグロの高付加価値化への検討を行うと共に、県内で高値で取引されるマチ類及び未利用資源である他魚種の漁獲量の安定確保を図り、漁業者の所得向上に向け漁協運営状況、出荷状況等の支援を実施し事業効果の発現に取り組む。

・農産物については、ビニールハウスを活用した野菜類(バクチャー)の安定的な生産量の増加を図り拠点産地への検討を進めると共に、薬用作物の安定的な生産を行い、増産へ向けさらなる事業効果の発現に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	市町村負担金	
6,100	6,100	4,880	1,220	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・契約者は生鮮海産物、農産物を直接島外へ出荷している団体及び法人であり、費目、用途も直接事業目的に真に必要なものとなり評価は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	家庭学習支援モデル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-イ	
担当部課名	教育委員会教育課		事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生涯学習社会の実現	
事業内容	町内の小中学生の学力を向上させるため、学習習慣の確立補助を目的とした町営の学習塾を運営し、地理的、経済的要因等に左右されない教育環境の整備、都市部と同程度の教育環境の実現を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	18233	19,657	20,996	21,457	18,448
		(b)予算現額	17273	19,737	19,438	16,060	16,460
		(c)増減額(b-a)	▲960	80	▲1,558	▲5,397	▲1,988
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	17,273	19,737	19,438	16,060	16,460
		B.執行済額	16677	19180	18616	13,550	11,983
		うち交付金充当額	13341	15343	14893	10,840	9,411
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	96.5%	97.2%	95.8%	84.4%	72.8%
	予算の状況の説明	予算の減額は、プロポーザルの結果、講師派遣型の塾となり遠隔授業用の役務費、使用料を788千円の減額した。また、1,200千円は新型コロナウイルス感染症の影響により、急遽授業の実施が困難にな講師人件費、派遣費用等の減によるものである。 不要額4,477千円は、計画変更後にも講師派遣が困難な時期が生じたためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	町営学習塾において学習指導の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	達成状況説明	・対面型一斉授業と緊急事態宣言中等においてはオンライン授業にて、学習指導を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(R2年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	R3全国学力・学習状況調査(R4.4月実施予定)へ向けた学習指導の実施	目標	()	()	(実施)	(実施)	()
		実績	/		実施	実施	/
	【R4成果目標】 全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R3調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 小学生国語:-1.0ポイント以内	目標	(-1)	()	()	(-1.0以内)	(-1.0以内)
		実績	/				/
	【R4成果目標】 全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R4調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 小学生算数:-0.8ポイント以内	目標	(-0.8)	()	()	(-0.8以内)	(-0.8以内)
		実績	/				/
	【R4成果目標】 全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R4調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 中学生国語:+1.6ポイント以上	目標	(+1.6)	()	()	(+1.6以上)	(+1.6以上)
		実績	/				/
	【R4成果目標】 全国学力・学習状況調査において、直近3年間(R4調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 中学生数学:-1.9ポイント以内	目標	(-0.9)	()	()	(-1.9以内)	(-1.9以内)
実績		/				/	
	進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症の影響により、塾開始から2週間ほどで講師が来島して授業を実施できなくなった。タブレット端末を配布し家庭からオンライン授業に参加する形式に早期から切り替えた。令和3年度は状況に合わせ、対面型授業とオンライン授業を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	オンライン授業は通常授業と比べると授業出席率が低下した。出席率低下の原因として、以下のことが保護者や生徒への聞き取りで、オンライン授業になると授業に集中できず騒ぐ生徒があり、彼らに授業を邪魔され集中できない生徒が欠席していることがわかった。	講師が離れており、現地支援員もいないため、勉強に集中しない生徒が増える傾向にあった。
今後の取り組み方針		
塾教室に集合しオンライン授業を実施できるように、現地支援員の確保に取り組む。またオンライン授業以外の取組として、ICT教材の活用を促進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,983</td> <td>11,765</td> <td>9,411</td> <td>2,354</td> <td>218</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,983	11,765	9,411	2,354	218	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,983	11,765	9,411	2,354	218										
与那国町 11,983千円	委託料 11,621千円	→	一般社団法人教育振興会 11,621千円	(学習塾運営委託)										
	会場使用料 362千円	→	与那国町観光協会 (指定管理者) 362千円		(学習塾会場使用料)									
資金の流	点検項目	評価に関する説明												
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。												
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の27.2%となったが、最終計画変更後に講師派遣が困難になったためである。												
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。												
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名		与那国町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-② 教育諸活動助成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-4			
	与那国町教育委員会 総務課		事業実施(予定)年度 平成24年～令和3年度		生涯学習社会の実現			
担当部署名			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)			
事業内容	児童生徒が持つ多様な能力、才能を発揮する機会を増やすことで広い視野を持たせるため、島外・県外で開催される大会等へ参加する児童生徒及び指導者等に対し、航空運賃・宿泊費等の補助を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12000	10,000	10,000	10,000	10,000	
		(b) 予算現額	16320	10,000	10,000	4,000	5,400	
		(c) 増減額(b-a)	4,320	0	0	▲ 6,000	▲ 4,600	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	16,320	10,000	10,000	4,000	5,400	
	B. 執行済額		14826	8501	6162	2,705	5,114	
	うち交付金充当額		11860	6801	4930	2,163	4,042	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		90.8%	85.0%	61.6%	67.6%	94.7%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染拡大の影響により大会・コンクール等が中止、延期により参加が難しい大会等があったが、感染防止対策をとりながら積極的に参加できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	各種大会派遣の実施		目標	各種大会派遣の実施	各種大会派遣の実施	各種大会派遣の実施	各種大会派遣の実施	
			実績	派遣回数50回	派遣回数47回	派遣回数19回	派遣回数39回	
	各種大会派遣人数(過年度活動目標)		目標	(432)	(443)	(300)	()	
			実績	447	363	134		
	各種大会派遣人数(小学校)		目標				(230)	
			実績				53	
	各種大会派遣人数(中学校)		目標				(300)	
			実績				153	
達成状況説明	前年度に比べ72名の増となったが、目標には至らなかった。多くの児童生徒が貴重な経験を積むことができた。島外で開催される大会等に派遣される児童生徒へ補助金を支給し保護者の負担軽減にもなった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対しアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	()	()
			実績		100%	100%	未実施	
	【参考指標】各種大会派遣人数		目標	()	(443)	(300)	(530)	()
			実績		363	134	206	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が補助金を利用し各種大会へ参加することで、島外の人との競争や交流の機会が増え、島内ではできない経験をする事ができた。今年度は全国大会への参加もできた。 保護者アンケートについて、アンケート内容の見直しをしたいため実施できなかった。 							

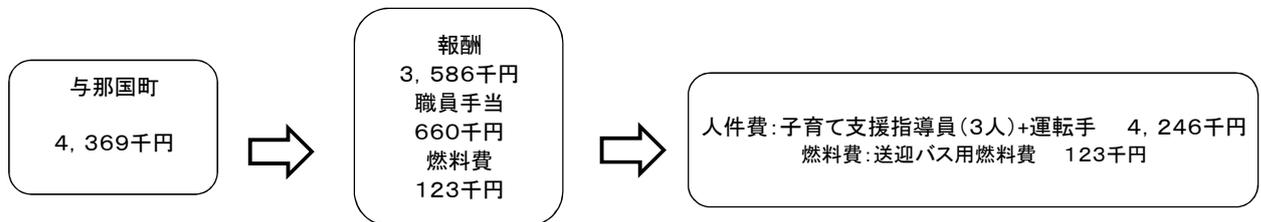
市町村名		与那国町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	安心・安全のまちづくり支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	長寿福祉課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-4-(1)	
事業内容	就学前児童及び小学校3年生以下を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育てを支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,680	5,473	5,370	7,317	7,254
		(b) 予算現額	5,346	3,991	4,510	4,942	7,254
		(c) 増減額(b-a)	666	▲1,482	▲860	▲2,375	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	5,346	3,991	4,510	4,942	7,254
	B. 執行済額		5,346	3,991	4,395	4,942	4,369
	うち交付金充当額		4,276	3,192	3,516	3,954	3,495
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	97.5%	100.0%	60.2%
予算の状況の説明		指導員3名への会計年度任用職員制度による報酬及び手当等を当初予算に算定していたが、1年を通して3名体制が確保できない期間があり予算が減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	指導員(3名)	目標	(3名)	(3名)	(3名)	(3名)	
		実績	3名	3名	2名	3名	
	バス運行(燃料費の確保)	目標	()	(バス運行)	(バス運行)	(バス運行)	
		実績		バス運行実施	バス運行実施	バス運行実施	
達成状況説明	前年度に引き続き、指導員3名の常時確保の目標達成のため人材の確保に取り組んだが、一年間をとって継続的な人材確保が難しい状況であった。引き続き保育所との連携を図り人材を確保したが、次年度への課題が残った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	安心・安全に子どもを預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じたか(85%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(85%)	(85%)	()
		実績		100%	97%	91%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	アンケートの結果として、回答者22名中、20名が負担軽減されたと回答し、継続的に保護者の負担軽減を図ることができていると確認できたが、現状施設の使い勝手の悪さや、お迎え時間の延長等、新たな要望も多かったことから検証の必要性も感じた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・現在使用している施設は、別施設を改造して使用しているため使い勝手の悪さが年々課題となってきている。幼児用のトイレについても大幅な修繕工事が必要な状況もあり課題である。 ・指導員の確保において、今年度においても保育士の資格を保有している人材確保が課題となり改善できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を実施するための施設としては、現状の施設しか適当な施設が無い。ため、既存施設の利便性の向上を図るための対策が必要である。 ・今年度も有資格者の確保ができなかったことから、島内だけではなく、島外からの人材確保に向けて積極的な取り組み実施するとともに、新たに人材を育てる取り組みの検討も必要である。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利便性向上については、ある程度の費用が必要となることから、財政面と協議を実施し計画的に取り組む。 ・昨年に引き続き、保育所の求人と併せて学童の人材募集も与那国町として実施する他に、町内で保育士資格取得に興味がある人材を発掘し、通信教育等で資格取得が出来る環境を作り新たな人材育成に積極的に挑戦する。 ・指導員のスキルアップも重要であることから、保育所と連携して保育所での研修機会を設ける等の取り組みも実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,369	4,369	3,495	874	



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
			受益者との負担関係は妥当であるか。	
			費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

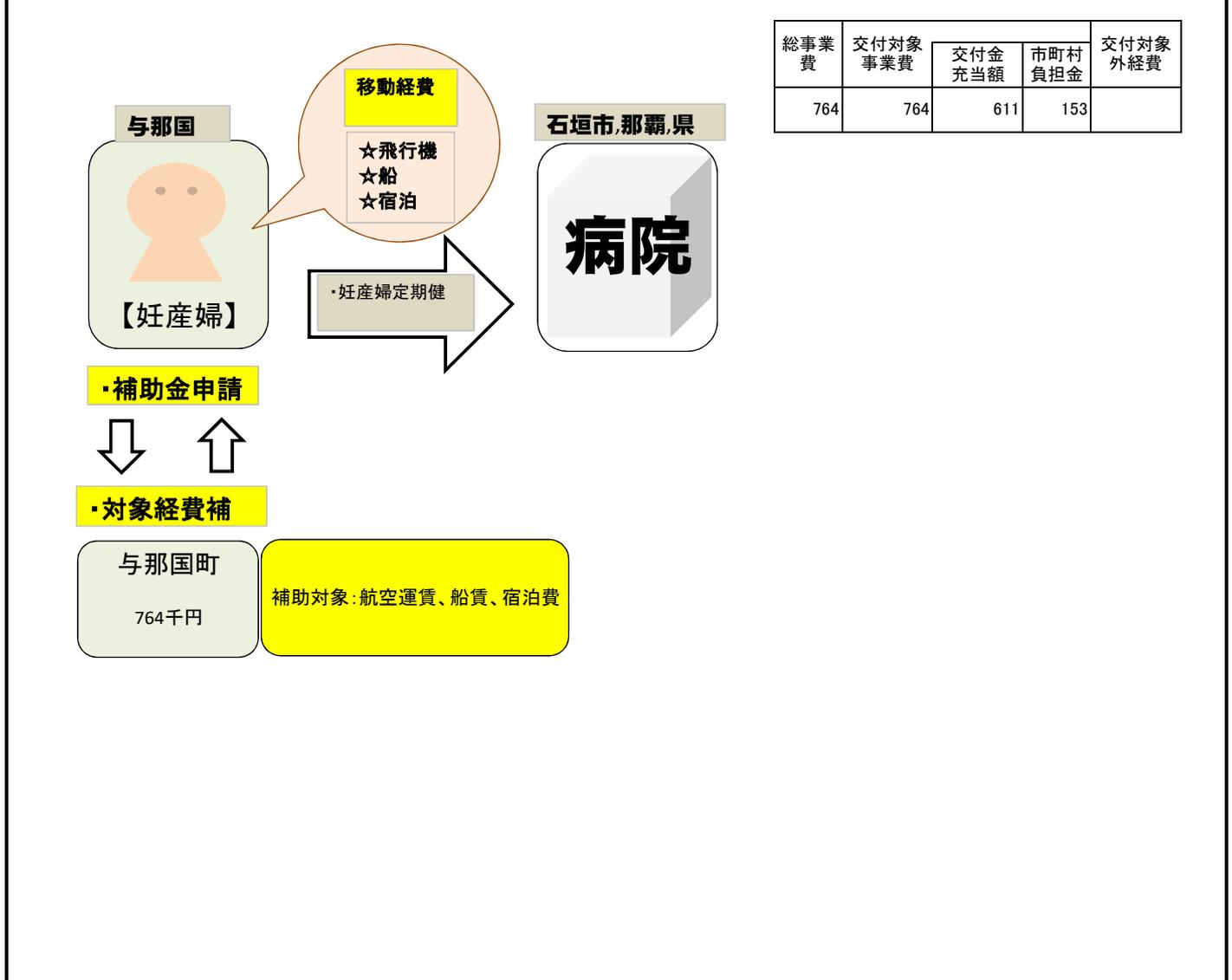
市町村名		与那国町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	少子高齢化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	長寿福祉課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-4-(1)	
事業内容	本町唯一の医療機関である与那国診療所には、各専門医がないため、出産又は専門医療を受けるためには、島外の石垣島へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用について支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,900	2,228	1,046	1,046	1,300
		(b) 予算現額	955	1,328	1,021	1,321	1,300
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,945	▲ 900	▲ 25	275	▲ 536
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	955	1,328	1,021	1,321	764
	B. 執行済額		955	1,272	1,021	1,220	764
	うち交付金充当額		764	1,117	976	976	611
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	95.8%	100.0%	92.4%	100.0%
予算の状況の説明		前年度より補助対象となる支援者数が増加すると見込んでの計画であったが減少したため当初予算を下回る状況となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	妊産婦定期健診の実施(H30-R2活動目標:妊産婦定期健診・出産時の渡航費、宿泊費の助成事業)		目標 (渡航費補助)	(渡航費補助)	(渡航費補助)	(12)	
			実績 渡航費補助	渡航費補助	渡航費補助	11	
	妊産婦一人当たりの受診回数:12回/人		目標 (-)	(-)	(12回)	(12回)	
		実績 -	-	3.4回	8回		
達成状況説明		・コロナ禍において、子育て世代の負担軽減を図ることができた。R3活動目標の指標について、前年度と変更して設定したが、指標として成果が判断しにくい部分もあるため次年度においては、明快な指標に見直す必要を検討する。 ※妊産婦定期健診の実施については、与那国診療所において実施した巡回診療として実施した産婦人科診療の実施回数を記載。妊産婦一人当たりの受診回数については、設定した回数に対して、対象者が助成を受けて受診した最大回数を記載。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	島内での妊産婦定期健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合100%		目標 ()	(100%)	(100%)	(100%)	()
			実績	90%	100%	100%	
	【参考指標】妊産婦定期健診、渡航費の助成対象者		目標 ()	(-)	(-)	(-)	()
			実績	20名	22名	18名	
進捗状況説明		・支援が必要な子育て世代が、渡航費補助金を積極的に活用している状況から、当該事業が子育て世代に広く認知されていると判断される。 また、仕事上の都合等により与那国町へ赴任してきた子育て世代においても当該事業を有効に活用していることから、離島においても安心して出産の計画が立てられることが周知され、子育て世代の移住者の定住促進にも効果を示すものである。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・島内に定住する子育て世代については、近年、様々な要因により、与那国町出身ではない(県外出身)妊産婦が多くなってきており、それに合わせるように、これまではなかった課題等を抱える妊産婦も多くなってきている。</p> <p>よって特殊なニーズ等にも対応できる、きめ細かな行政の対応が要求されるものと考えている。</p>	<p>・昨年度も課題として取り上げた、妊産婦が第2子又は第3子を出産する際、第1子又は第2子が未就学の場合については、対応が間に合っていない状況があるため、引き続き子育て世代が安心して定住するための支援策の検討が必要であると思われる。</p>

今後の取り組み方針

・多様で多岐に広がる、子育て世代で特に若い世代の支援については、特に総合的な支援が必要である。よって、母子推進員、保健師、民生委員等との連携を図りながら長寿福祉課に設置した「子育て世代包括支援センター」を中心として支援を強化していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・妊産婦通院費助成金交付申請において、対象者を確認していることから適正と判断している。</p> <p>・定期健診及び出産のための、移動経費、宿泊費について一般的な料金体系を参考に判断している。</p> <p>・費目・用途については事業目的達成のためにも必要な経費に限定して支出している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	公共交通路線支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ	
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化	
事業内容	地方バス運営に必要な経費を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するために必要な条件を整備すると共に、来島者の利便性向上も図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	4,552	13,349	12,610	12,843	12,850
		(b) 予算現額	4,552	18,526	12,587	12,843	12,850
		(c) 増減額(b-a)	0	5,177	▲ 23	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		4,552	18,526	12,587	12,843	12,850
	B. 執行済額		4,519	18,526	12,587	12,843	12,844
	うち交付金充当額		3,614	14,820	10,070	10,274	10,274
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		計画の一部は変更になったものの概ね当初計画のとおり事業を適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	公共交通路線バス運行費用への支援		目標 (運行支援)	(運行支援)	(運行支援)	(運行支援)	
			実績 運行支援	運行支援	運行支援	運行支援	
達成状況説明	・公共交通路線バスの運行費用への支援を行った事で地域住民の生活基盤や利便性向上を図り、定住するための必要な条件を整備をした。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(23年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R5年度)
	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
			実績	利便性99%	未実施		
	【R5成果目標】		目標 ()	()	()	()	()
	入域観光客数(年度)(年2回の調査による推計値)		実績	年間3,271便/19,881人	年間3,255便/12,817人		
進捗状況説明	・路線バスの安定的な運航を維持し、運転が困難な高齢者や園児児童生徒及び来島者の利便性向上を図った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	住民及び来島者から航空発着時間に合わせた地域間の運行がないことへの不満がある。	・住民及び来島者のニーズに見合った利便性の高い運行計画を作成する。
今後の取り組み方針		
・バス内でアンケート用のQRコードを設置しスマートフォンを活用した意識調査等を行い、調査結果を基にバス対策会議で運行計画の見直しを図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
12,844	12,844	10,274	2,570	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○与那国町では現在、大型観光バス業務及びタクシー業務等を行っている事業者が1事業者しかいないため、その事業者と随意契約により委託契約を締結している。これまでの実績等も勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○事業者は、指名競争入札にて選定されており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模は事業内容に見合った適正な規模だと考える。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	